

「環境・エネルギー教育支援活動」の概要

<当社の主な「環境・エネルギー教育支援活動」のイメージ>

**環境・エネルギー分野**

環境・エネルギー講座

環境・エネルギー教育研修会  
(教職員対象)

発電所・施設見学会

**自然環境保全分野  
(東京電力自然学校)**

自然体験活動

環境教育研修会  
(教職員対象)

<環境・エネルギー分野>

(1) 環境・エネルギー講座

当社社員が講師となって行う出前授業。平成5年度より電気づくり方(発電方法)を中心に、エネルギー資源問題や省エネルギーなどを解説。平成19年度からは、学習指導要領と連携し、地球温暖化などを重点に再構築。基本メニュー「みんなの地球をみんなで守ろう!」では、「私たちの暮らしと電気」「電気はどこから来るの?」「エネルギーと地球温暖化」「地球温暖化を防ぐために」「今日からできること」などを学べる。平成20年度は、小中学生を中心に、1,288回実施し、約62,000名が受講。

(2) 環境・エネルギー教育研修会

教職員を対象に平成17年度から開催。地球温暖化問題の情報提供や、「環境・エネルギー講座」の紹介、発電所などの施設見学を実施。平成20年度は、48回実施し、約1,000名が参加。

(3) 発電所・施設見学会

火力・水力・原子力発電所での施設見学会を実施。平成20年度は、小中高生など学校関係者を中心に約47,000名が参加。

< 自然環境保全分野 > (東京電力自然学校)

(1) 自然体験活動

ア. 発電所の構内緑地における活動

平成5年6月から発電所の構内緑地を利用した自然観察会を開催。平成20年度は、37回実施し、約2,400名が参加

イ. 尾瀬・戸倉山林における活動

当社が土地所有者として長年その自然保護に取り組む「尾瀬」の現地、または小中学校において、貴重な自然の成り立ちや、自然を守る取り組みについてお話しする「尾瀬自然解説」や「出前授業」のほか、「みんなの尾瀬をみんなで守る」ことを目的に、グリーンボランティア(ゴミ拾いボランティア)や尾瀬のふもと尾瀬戸倉山林における森作りのボランティア(植林、下草刈り)を呼びかけている。平成9年から始まった尾瀬戸倉山林のボランティア活動には、一般公募者や地元の高校生(群馬県立尾瀬高校自然環境科)など多くの参加をいただき、これまでにブナを中心とする広葉樹32,500本の苗木が植林されている。

<平成20年度実績>

尾瀬自然解説	80回実施し、約2,700名が参加
出前授業	33回実施し、約3,300名が参加
グリーンボランティア	約22,500名が参加
ブナ植林ボランティア	約260名が参加(昨年の抽選倍率2.5倍) (2,500本の広葉樹を植林)
下草刈りボランティア	約100名が参加

ウ. 当間高原(新潟県十日町市)における活動

平成21年4月から、里山環境を通じて自然の大切さを伝えるプログラムを「あてま 森と水辺の教室 ポポラ」として開始。ブナ林散策、昆虫観察、ホタルの夕べなどの自然観察プログラムやブナ植林体験を開催。

(2) 環境教育研修会

平成11年度から、教職員を対象に、全国小中学校環境教育研究会などと連携を図りながら、発電所の構内緑地や当間高原などで専門講師による講演、自然観察手法の紹介などを実施している。平成20年度は、8回実施し、約200名が参加。

以上